



### 研究の目的


- 環境音
  - アーカイブ } なにか便利にすることができるかもしれない?
- 便利なことの一例
  - クリエイターが制作を行う際にイメージ共有ができる
  - VR空間など様々なコンテンツとの連携が見込める
    - 認知症治療の実践に一役買うかも・・・(回想法とか)
- しかし、どのコンテンツ制作には前もって制作されたBGMが必要
  - 音は良くも悪くもコンテンツのイメージを左右する要素
  - コンテンツの公開スピードが重視されるようになると、音にはコストをかけることが不可能になる。

↓

環境音データアーカイブがあれば便利に利用できないか

### 環境音を素材にしたコンテンツは多い

- 仮想空間のゲームではプレイヤーの環境に近い音が必要
  - 利用者ごとに鳴る音は違う
  - 様々な環境音が必要になるためコストが高い
- 最近メタパースイベントが開催されるが環境音などは無音



↓

無編集の環境音を大量にアーカイブ化すれば低コスト化

### 環境音アーカイブの目的

- 環境音の応用価値は高いはず
  - 映画やゲームではサウンドスケープや環境音をデザインすることは一般化されている
  - 販売サイトなども登場しつつある
  - ただ、標準のメタデータスキーマが見つからない
- ↓
- 使用目的がプロのクリエイターによる制作に偏っている
- 目的を定めて収集するためコストがかかる
- ↓
- 目的に合った環境音を探せるくらいのDアーカイブを作りたい

### 環境音の収集

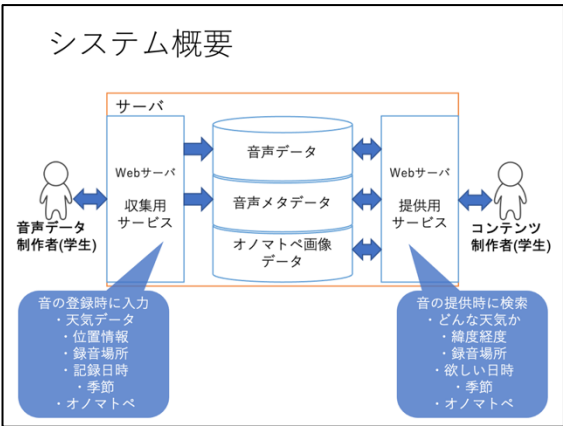
- 録音機：ZOOM H8
- マイク：ZOOM / MSH-6
- 録音時間：1時間単位
- ファイル：zprjファイル
- データサーバ：Dspace7




椎内市での収集時



豊見城市での収集時



### 検索のイメージ

#### 音資源アーカイブシステム検索システムβ版

キーワードを入力

どんな音ですか

どの音

どんな天気ですか

どんな気温ですか

どんな湿度ですか

どんな季節ですか

年日時を教えてください:

緯度経度を教えてください:

+ オノマトベ画像  
検索

### 環境音の再生に関する検討中の事項 (2023年度の目標)

- 立体音響への対応
  - 立体音響とは、コンサートの音を違う場所で聞いてもコンサート会場で聞いていると感じさせるような音響技術。ホールなどの特定の建物内の音環境を再現することが最終目標である。
- データの利用形態によるメタデータの差
  - 人間が使う
    - 過去の文化や雰囲気を知るために集音場所・集音タイミング時の写真が必要
  - 機械（プログラム）が使う
    - 仮想空間の状況に合わせて音を自動的に検索して取り出す
    - APIの整備と順位付けの方法を検討する
    - 既存の環境音から生成する研究との連携

## サウンドスケープ支援を目指した音資源アーカイビングシステム

中部大学国際人間学研究科言語文化専攻 博士前期課程1年 坂本 董

### 自由懇談

坂本 アザラシに吠えられた者です。

?? 私、ちょっとあまりよくわかららないので、簡単に教えていただけると嬉しいです。

坂本 さっきの柘先生の町全体のアーカイブを構築するに当たって必要なものの中の音の担当をしているんですけど、町を構成する音って、私たちの声以外にも、工場音だったりとか、鳥の声だったりとか、天気の声とかもあるじゃないですか。それプラス、機械で取れちゃうノイズとかも、すべて町の声になっちゃうじゃないですか。それを保存するために、このプロジェクトの価値があるのかなと思っています。

最近、コロナ禍の影響もあって、仮想空間の相談場所とかゲームとかが増えた印象があって、特に、この画像がうちの大学のキャリア支援課の遠隔の相談所になっているんですけど、このサイト自体は全然音がないので、ただキャリア支援課の方と学生の音声だけという、何かちょっと寂しい音なんですよね。わざわざ仮想空間にしているんだったら、今ちょうど28号館の工事をしているので、そういう工事音が入っていたりとか、学生の声とかがあったほうが、大学にいるっていう臨場感があるんじゃないか。私たちは、そういう外部の仮想空間とかのシステムに組み込めるような音を記録する箱をつくっているという状態です。

?? 静かにしているのがいいと思いがちだけれども、臨場感のためには、そういうノイズというのが、何というか、自然な感じと。

坂本 そうですね。これからもっとVRとかが発展してくるとなると、やっぱり今までのゲームみたいに音をつくるということもできなくなってくるんじゃないかなと思っていて、そうすると、現実の音って結構必要とされるものなんじゃないかなって。そのための、みんながとった現実の音をためる箱をつくっています。それを登録するときに、音をとった方に入れてもらうデータは何がいいのかとか、逆に、検索するときに、どういうデータだったら簡単に検索できるのかとか、今ちょっと検討しています。空間音とかVRとか仮想空間に対応するとなると、やっぱり立体音響という厚みが出る音のデータも必要なんじゃないかということで、今ちょっとそこら辺で苦戦しています。

?? すごくおもしろいと思うのは、私今、気象学史をやっていて、これって、どんな天気ですか、気温ですか、湿度ですかとかいうのが残っていくというわけなんですよ。

坂本 そうです。

?? それは、坂本さんは音だけれども、そのときの映像とかも残っていくということなんですか。それはまた違うわけですか。

坂本 また違うんですけど、今学会とかへ行ってきてちょっと指摘を受けたのは、やっぱり地点とかはみんなわからないので、天気とかに差が出ちゃうので、音をとったときの写真もあると、気象でも何でもいけるんじゃないかという話になっていて。

?? そのとおりで、その地点の音声だけでは、使うとき、ちょっと使いづらいのかなと思って。

坂本 それを解決できるのがオノマトペなのかなとちょっと思っていて、オノマトペのほうも結

構進めているんですけど、文化の違いだったりとかがあるので、どうなっていくことやらという感じです。

?? おもしろいですね。こういう研究があるんですね。

坂本 もともと私がこういう音のことを始めたきっかけが、うちの最近亡くなった祖母が認知症になって、かなり激しめの認知症だったんですけど、昔の話をするとか攻撃的なこともちょっと少なくなったりして、何でだろうなって疑問があったんです。昔話をするのは誰もかれも楽しいというのはわかっていたんですけど、そのときテレビで、認知療法とか、認知症の回想法とかいうやつがあって、昔流行った音楽を聞かせるとめっちゃくちゃ元気になるというような、それがすごい気になって。そうしたら、めぐりめぐってこういう役に立てそうな研究にたどり着いたという形です。

?? 本当におもしろいなと思うのは、私は歴史学なので、オーラルヒストリーとか、そういったもののアーカイビングというのは暮らしにあるけれども、「音資源」のアーカイブっていうのも、今後、確かなかなか大事そうだなと。

坂本 そうですね。今も文章とか映像とか写真は残っているんですけど、やっぱり音は、結構残りづらいけれども、でも、残っていたら便利なものなんじゃないかな、みたいに思ってしまった。あとは、検索とかの条件を、どう使いやすくしていくか。

?? 緯度経度とか日時とかね。

坂本 あと、自動録音でできると、もっといいなと思っています。今はこの録音機で、ずっと立ちっ放しで、つきっきりでやっているので、そのうち自動録音のロボットでそれに対応できるといいなみたいな。それだと 365 日 24 時間録音できるので。

?? でも、例えば、どんな音ですかっていう選択肢はどういうふうになるの。

坂本 どんな音というのは、たしか環境じゃないかなと。海沿いの音とか、そういう条件じゃなかったかなと思うんですけど。

?? そっか。じゃあ、例えば「知多半島 波」とかのキーワードで検索するとか。

坂本 そうすると似たようなものが出てくるという感じですね。

?? わかりました。頑張ってください。

坂本 はい、ありがとうございます。

?? なぜこれを研究テーマにしようと思ったんですか。

坂本 もともと柘先生が町のアーカイビング化をできないかっていう研究をやっていて、その中で、私はずっと声優さんだったりとか音楽だったりとかが結構好きだったから、音に対するの興味が強かったのよね。だから町のアーカイビングの中の音部門の担当になって、音を保存するってなると、今のこの空間の音も、ぶっちゃけ私の研究対象っていうか、保存するものの一つなの。

?? 確かにそうですね。

坂本 例えば私が認知症になったとき、この音を聞いたら、そうそうそう、あのときはご飯が食べられなくてとか、記憶がよみがえったりすることがあるらしいのね。私、音楽で認知症の患者の脳がちょっと活性化するみたいな治療法にずっと興味があって、アメリカとかではそういう研究が結構進んでいるんだけど、例えばおばあちゃんが昔の流行歌を聞いて

すごい元気になるとかっていうのにすごい興味があったので、いいじゃんみたいな感じでやってきたということですね。

?? それでこれを研究テーマに。

坂本 テーマになった。私のおばあちゃんがつい最近死んだんだけど、結構ひどめの認知症で、普通に柔らかな認知症じゃなくて、結構攻撃するタイプの認知症だったの。言葉とかじゃなくて、変な夢を見ちゃって、それが現実と区別がつかなくなっちゃって、80何ぼなのに鏡台をバーンって割ったりとか、すごかったわけよ。だから、将来そういうので昔を思い出すツールとして何か認知症の家族とかを助けられたらいいなと思う感じで。

?? いい夢ですね。

坂本 ありとあらゆるものが大変だったから。徘徊もしたし、夜中もすごい起こされたし、家に帰りたいて言われても、どこの家に帰りたいのかわからないし、みたいな。

?? あなたの家はここですよって言っても、わかってもらえないし。

坂本 でも、そういう人たちが思い浮かべるのって、多分きっと自分が生まれ育った家だと思う。だから、今は写真とか映像とかのアーカイブっていうのが結構進んでいるから、音も再現できれば。

?? そうですね。VRとかだと、音はまだまだですもんね。

坂本 患者さんの要望にも応えられるんじゃないかと思っちゃいますよね。

?? ええ話や。

坂本 いい話なのかな。

?? 僕はいい話だと思いますけどね、実際。こうしたいっていう夢じゃないですか。

坂本 そうかな。ただ、認知症の音楽療法っていうのが日本では全然浸透していないわけよ。だから、こっちの切り口ならいけるかなみたいな。

?? 別の切り口から。

坂本 それから、日本で音楽療法をして、流行歌でデイサービスとかを回ってとかいうやつは、まずなり方がなくて。とりあえず保育系の大学とかに行っちゃって、ピアノが一通り弾けなくちゃいけなくてっていう課程はあるんだけど、その後のことは何も保障されていない。すごい重宝がられるんだけどみたいな待遇。それで、なれなかったから。なれなかったっていうか、ピアノ全然弾けなかったし、無理だなと思ったから。無理だなと思っていたことが、ここでまた花開くとはっていう感じでしたけど。

?? ありがとうございます。

坂本 このハスカップのケーキ、すごいおいしかった。

?? こっち、そんなに酸っぱくないですよ。それでめっちゃ酸っぱいってなったらごめんなさいですけど。

坂本 ドライフルーツ。

?? 若干甘口。多分砂糖で煮てあるんだろうって言われました。こういう機会じゃないと、先輩に何でこういうことをやったのかって聞けないので。

坂本 いや、聞かれればしゃべるけど。ポスターがあったほうがわかりやすいよね。

?? めっちゃわかりやすい。

坂本 それはそう。

?? これをあと2年ですか、3年ですか。

坂本 あと1年でサーバーをつくって試しのプロトシステムをつくれればいいんじゃないかなと。正直、検索項目とか、いろいろ検討点や直すところってあるんだけど。特にオノマトペとかは、海外とかだとオノマトペって全然違うし、文化的なものでしょう。

?? そうですね。

坂本 アメコミのオノマトペと違って全然違うじゃん。

?? 全然違います。

坂本 文化的な背景もあるから、検索項目をもっとわかりやすくするためには、文化的な分類をしなくちゃいけないっていう話。だから、これは修士におさまらないねということで、検索項目については一旦保留で、現在あげたものだけでずっとやっていこうかなと。あと、録音機の高さとかがネックになってきていて。

?? そうですね。

坂本 結局、今は立体音響をやりたいって言ってるじゃん。立体音響にすると、特に録音機の高さっていうのがネックになってきて、どういう単位ではかるかとか、どれをゼロとするかとか、データが重いとか、いろいろある。

?? 技術的問題もあるからな。

坂本 立体音響だと、真っ白にしたSDカードで録音しても、10チャンネルとかにすると30分ももたないから。

?? 前に講義で置いていたときって、あれは1チャンネル分ですよ。

坂本 そうそう。

?? それだと大丈夫なんですね。

坂本 1チャンネル1時間はいけるんだけど、10チャンネルは30分しかとれない。それはSDカードの容量のことも考えなくちゃいけないし、電池の減りもバカ速いし、どうするかねみたいな。

?? 要所所でアップロードして消せばっていう。

坂本 あと、立体音響は、どこにマイクを置くかがネック。例えば、ここで立体音響をとるよってなって、10カ所とるよってなったら、まず四隅に置くじゃんね。あと、上下とかってなるじゃん。その装置を考えなくちゃいけないとかで、ちょっと難航しているって感じ。

?? なるほど。

坂本 そういう立体音響をやり始めると、音響学のほうにもまた足を突っ込まなきゃいけないので、それも難航しているって感じかな。

?? ありがとうございます。

坂本 初めまして。坂本といいます。

澁谷 柊先生のところの。

坂本 はい、柊研究室です。アザラシに威嚇された人です。録音機を出してとっていたら、わらわらとアザラシが集まってきて、すごい威嚇をされたんです。

澁谷 浜辺なんですか。

坂本 漁港っていうか、ああいうコンクリートのところで、人もいないし、やっていだろうと思ってやっていたら、わらわらわらと集まってきて。

澁谷 そうというのが来るんですね。びっくりする。でも、環境音って広いですよ。とにかくそこにあるものが環境音だから。

坂本 そうです。今の状況でいうと、周りのざわざわしゃべっている声も環境音になりますし、われわれの耳には聞こえないホワイトノイズと呼ばれるものも環境音になりますし、靴音とかも環境音だしみたいな。

澁谷 アザラシの鳴き声とかも、入ったら全部。

坂本 そうです。そこにいたら、全部環境音です。

澁谷 そうなんですね。

坂本 空間すべての音なんです。

澁谷 「サウンドスケープ」という言葉もありますよね。

坂本 そうですね。あれはもともと、音にも風景があるってマリー・シェーファーさんが言ったんですけど、今の使われ方としてはBGMとか周りの音というのを一つの風景としていて、サウンドスケープ界限はちょっとわれわれと違うかなと思ったのと、われわれは提供する側なので、ちょっと切り離して考えています。

澁谷 なるほど。聞いている側じゃないわけね。

坂本 はい。

澁谷 これは最終的に、環境音を再生して聞かせるという感じになっていくんですか。

坂本 最終的には、私たちじゃない誰かが環境音を録音して、それをためるサーバーというか箱をつくっておいて、それが使いやすければ、やった！という感じですね。

澁谷 それが勝手に動いてくれるという感じ。

坂本 そうです、そうです。機械とかも連動したら、人の手が入らずに仮想空間で楽しいことができるみたいな。

澁谷 なるほど。そうなんですね。「音資源」っていうんですね。

坂本 私の研究と近い言葉がないかといろいろ探したんですけど、なくて。

澁谷 「音資源アーカイブ」ってすごいな。

坂本 「音声資源」だと声のほうになっちゃうので。

澁谷 確かにそうですね。

坂本 だから、何かいい言葉をとって、「音資源」になりました。

澁谷 距離が割かし遠いので、実はよくわからないところもあるんだけど、でもすばらしいですね。柗先生のところは、みんなそういう研究をされているんですか。

坂本 そうですね。今院生で残っている学生は、結構アーカイブ系です。私が動画で、あの子が3Dで、あの子があれでみたいな。

澁谷 そういう分業みたいなものがあるんだね。

坂本 それが全部合体すれば町になるだろう、みたいな感じですよ。

澁谷 なるほど。

坂本 先を見据えてやっています。

澁谷 見えるし、聞こえるし、みたいな。へえ、すごいな。ありがとうございました。

?? すみません。何か難しいことやとるなあ。いろんなところで音を拾って、それを分析すると。

坂本 分析っていうか、音を録音したときの周りの環境だったりとか、周りがどういう状況かっ  
ていうのを、例えば森林だったら森林ですが、そういうことをとった人に入力させて、そ  
れをためる箱をつくりたいんです。

?? データベースをつくるんだよね。で、そのときのシチュエーションみたいなことを記録し  
ておいて、こういうときにはこういう音が出るっていう、簡単に言ってしまうとそういう  
ことだよ。

坂本 そうです。最終的には、人間が選択しなくても、機械が自動的に似たような音を持ってく  
るとうれしいなみたいな。

?? そうか。僕も音には随分悩まされたから。音をどうやって静かにしてそこの居住性をよく  
するかみたいなことをやっておったから、これとは随分違う話だけど。

坂本 反対ですね。

?? 音の使い方が違う。僕は音を切ろうとしておるけど、音をどうやって使おうかという。

坂本 そうです。どう保存していこうかと。

?? そうなことだよ。データベースをつくるということは、そういうことだもんね。風が  
入らないように、ちゃんとこういうマイクも。

坂本 そうですね。でも、稚内の風には耐え切れませんでした。

?? 今日思ったんだけど、実は稚内って、僕のイメージからいくと、礼文とか利尻へ行くため  
の、その前日に1泊する場所みたいなイメージがあっけ。例えば、稚内空港へ行くでし  
ょう。でも、その日はもう礼文とか利尻へは行かなくて、大体時間があるから幾つかの観  
光地を回るんだけど、目的地はやっぱり利尻だったり礼文だったり、非常に失礼な言い方  
なんだけど、そんなイメージがある。

坂本 意外と島に渡って行き来するのって地元住民が多いみたいで、私が実験しに行ったときに  
は、稚内のほうからはあまり船に人が乗っていなかった感じがあります。

?? そうですね。何月に行ったの。

坂本 去年の1月だったので。

?? それは寒いからな。

坂本 寒いですし、雪も北海道では記録的な大雪って言われていたときだったので。

?? それはいつの話。去年ですか。

坂本 去年です。

?? 寒いじゃん。

坂本 コロナ禍もあってという状況だったので、それは観光客もいないよねみたいな。

?? だけど、1月だったら、あそこまで北に行くと、大変気温も低いでしょう。夜なんか、  
-15~-20℃とかまで行っちゃうんじゃないの。まあ山じゃないからいいのか。

坂本 でも、海風が温かいので、内陸のほうが寒いんですよ。

?? そうですね。だって、阿寒湖なんかは、内陸で標高が少しあるから、僕が行ったときな  
んかは朝-30℃。だから、スキー以外でダイヤモンドダストを久々に見たなみたいな。で  
も、北にあるけれども、そんなに冷え込まないんだね。

坂本 気温はそれほどでもないみたいで。

?? じゃあ、隣の高山と変わらへんのか。高山も今は最低温度が-10℃ぐらい平気で出るもん

ね。海の近くだからそう冷えないのか。いや、それでも寒いよな。雪はどうなの。あんなところだと、日本海側とのちょうど境じゃないの。

坂本 そうですね。

?? 雨雲って結構来るもんなんですか。

坂本 降っていることは降っているんですけど、北海道のほかの地域のほうがひどいという状況もありましたから。

?? 特に小樽とか、そういう日本海側に接しているところは結構降るよね。だけど、ちょっと先っぽのほうだよな。だから、どうなんだろう。やっぱり曇ってくるのかしら。

坂本 曇って降ったり吹雪いたりはするんですけどみたいな。

?? テレビでやっておるようなホワイトアウトでぶわーっと風が吹くと、もう参っちゃうよね。

坂本 でも、稚内市は除雪がすごくて、地面まで雪を掘るんですよ。1ミリたりとも残さないみたいな感じで。

?? 雪国だからね。でも、どうなんだろう。町の道路なんかは、あそこはスプリンクラーは結構埋まっておるのかな。凍っちゃうから埋めていないのかな。例えば、僕は北陸なんです。

坂本 私も北陸です。

?? えっ、どこですか。

坂本 金沢です。

?? 俺は富山。新湊というところですよ。金沢か。今金沢は大変じゃん、新幹線ができてから。

坂本 はいはい、もう大変ですね。

?? 俺の友達なんかも九谷焼で、結構電話なんかでわーわーやっておるんだけど、そうしたら、もう新幹線ができてからはって。観光に従事する人はいいよね。だけど、一般の生活の中では、やっぱり旅行の公害ってあるじゃない。

坂本 あります。近江町市場がまさにそうで、今までは結構値切ってくれたりとか、要望があったら話もできたんですけど。

?? 高いもんな。俺、いつ行ったのかな。田舎への帰りにしよっちゅう寄っておるから。例えば、高山を通過してわざと下から行って、暇だからわざわざ金沢経由で結構おるんですけど、すごいね。高いんだわ。

坂本 高いですよな。

?? 僕のイメージでは、昔はすぐに試食をくれたりとか。もっと前のイメージかもしれんけど、それぞれ試食をすぐくれたし。

坂本 3時ぐらいになったら、もう結構値引きしてくれましたよね。

?? そうそう。当たり前っていう感じで。でも、今はすごい高いんだわ。

坂本 全然値引きする気配もないし。一緒に詰めて送ってくれるよ、みたいな、そういう優しさが消えたっていうか。

?? わかる、わかる。金沢も立派になって、駅なんかすごいからな。

坂本 そうですね。でも、あそこに税金がいっぱい使われているので。

?? まあまあ、そうやって考えるとそうなるかもしれんけど。

坂本 父親から聞いた話なんですけど。

?? お父さんってさ、俺らよりはるかに若いんだよな。まだ50代。



坂本 いや、私の父親は今年 63 歳ですよ。

?? それでも俺らより若いな。そうか。

坂本 父親から聞いた話なんですけど、金沢駅って天井がガラス張りじゃないですか。あれを掃除するために 3 億円ぐらいでつくったロボット掃除機が使えなくて、おじゃんになっているという話を言っていたんですよ。それから、「ひやくまんさん」という起き上がりこぼしのキャラクターを石川県が今大変推していると思うんですけど。

?? はいはい、テレビでは見たことある。

坂本 あれを 1 体つくるのに、すごいお金がかかっていますから。

?? そうなの。

坂本 本当の金箔とかを張っていて、友禅の絵も本物ですし。

?? でも、金沢は、何ととっても、やっぱり金箔だからね。代表的なあれの一つだもん。だけど、俺は思うけどさ、観光の話をする、今の金沢もそうだし、例えば海外でいくとバルセロナとかああいうのもみんなそうだけど、観光による公害って結構あるじゃない。だから、できるだけゆっくり立ち上げていって、ちゃんと対応できる状態の中での観光というのはええけれども、後から来る人の満足度を上げるために、そこに暮らしている人の生活はそれでいいのかなって。

坂本 そうなりますよね。

?? 絶対あるよな。金沢は絶対そう。友達にも結構言われるから。

坂本 今まで関西だけでよかったものが、急にキャバが増えたというか。

?? だから、キャバが間に合わないよね。そうか。金沢か。今何年生なの。

坂本 院の 1 年です。

?? なるほど。それじゃあ、もう名古屋に来てから 5 年目か。

坂本 そうです。

?? 早う帰ってこいって言われませんか。

坂本 言われますね。

?? そうやろ。金沢におったら考えんでもええこととか、わけのわからんことを考えたりするから。

坂本 金沢っていうか、石川県自体、工業系が強いといえば強いんですけど、文系となると、やっぱり今必要とされているのは観光なんですよ。だから、観光も今は安定していないじゃないですか。

?? 観光か。難しいな。俺はどっちかというのと理系だったからさ。若いときの学校はここじゃないけどね。そうか。難しいのかな。

坂本 難しいですね。金沢は今特にいっぱいホテルがあるので、どうなっているんだろうと思いますけど。

?? 確かに。ホテルだらけになってきたね。

坂本 銀行街だったところが、もう軒並みホテル街になっちゃったみたい。

?? 昔、たまに仕事で家に帰れないとなったときには、金沢で泊まったりして、お客さんと飲んだりしていたの。ちょうど香林坊から一本手前に入ったところに川があって、その近くのところにスナックがあったりして。伝助って知らないかな。

坂本 知っています。

?? あそこのおでんとかさ。俺、伝助へは結構行っつた。やっぱりあそこは有名なんだね。一本入ったところの。

坂本 はい。

?? 俺、あそこが大好きで。店はそんなに大きくないけれども。

坂本 今は並んでいますよ。

?? 混んどるよね。有名になり過ぎたよね。

坂本 伝助もそうですけど、片町の三幸も。

?? 俺、行ったことない。何それ。おいしいの。

坂本 めちゃくちゃおいしいです。そこも多分伝助と同じぐらいの規模なんですけど。

?? ああそう。じゃあ、俺も地元じゃないから、連れていってもらったのかな。すごい感じがよくて、それから時たま使うようになった。だって、わからへんじゃない、地元じゃないとね。伝助の話ができるとは思わなかったな。

坂本 意外とありますよね、おいしいもの屋さん。今はもう全部有名になっちゃって。

?? そうか。やっぱりもうだめなんだ。

坂本 7時とかに行っても、もうずっと並んでいるというか。

?? もともと伝助へ行くときは予約を入れておかないと座れないみたいなイメージはあったよね。もともと人気あったもんね。

坂本 そうですね。

?? でも、そうやって並んどるぐらいだったら、今までの常連の人なんて、もう入れんようになっていられるのかもしれないね。

坂本 観光客が多くて。

?? さっき何て言ったっけ。

坂本 三幸です。

?? ちょっと待って。書いておこうかな。ごめんね。飲み屋を教えてもらうというのはちょっと問題かもしれないけど、「みゆき」というのはどんな字を書くの。

坂本 三つの幸せで「三幸」のはずです。

?? 「金沢」と書いておかないと、何のメモかわからんようになってっちゃう。

坂本 片町です。

?? ちょっと待ってね。「三幸」ね。これは何屋さんなの。

坂本 おでん屋さんで、常連のお客さんはワカメのおでんとか頼んでるんですよ。

?? 俺は食べたことないんだけど、向こうの人が頼んだりするのを見ていると、金沢で、ほら、甲羅の上に。

坂本 ああ、ありますね。

?? あれって特別なメニューなんでしょう。

坂本 そんな日常的に出るものではないですね。

?? そうなのか。なるほど。じゃあ、必ずあるっていうものではないということやな。

坂本 そうです。カニのやつは、それこそ、やっぱりちっちゃいお店がやっているのをテレビが見つけちゃってみたいな感じですね。

?? 食べたことないんだわ。

坂本 私も食べたことないですよ。

?? そんなもんなの。

坂本 そうです、そうです。

?? じゃあ、そう無理することないんだな。でも、テレビではよくやるじゃん。それで、ああいうものってどこへ行ったら食べれるのかなと思いつつ。あまり知らないもんだから。地元の人には多分知っておるんだろうけれども。

坂本 どちら辺にあるかもわかってはいるんですけど、やっぱりテレビでやっちゃうと。

?? さっきの話と一緒に。金沢市内で育ったんですか。

坂本 はい、そうです。町中じゃないんですけど、結構郊外のほうで、金沢の西インターとかの近くで育ちました。

?? はいはい、大体わかる。金沢市内で泊まるより、余裕があったら、わざわざ温泉街で泊まるから。温泉街で1泊2食つきだったら、料理はいいし、鮮度もいいし。いつか、片山津なんかですごい値段が安いときがあったの。

坂本 片山津は今、本当に安いですよ。

?? ぼろぼろになっちゃって。

坂本 はい、ぼろぼろで。

?? だから、車で走ったときなんかは、もう金沢市内で泊まらずに、お客さんとも、そこまで戻って温泉で泊まる。百万石っていうのが一回潰れたじゃん。

坂本 はい、潰れましたね。

?? 俺、あそこだけ行ったことないんだ。例えば加賀屋さんとかああいうところも、大体行っておるんですよ。ところが、百万石だけ行ったことがなくて、行ったことがないのに潰れちゃって。で、今はまたどこかがやっておると。

坂本 そうですね。建物とかを改修したりして。

?? 結構すごいよね、相変わらず。

坂本 山代は潰れたり新しくなったりというのが結構多いですね。

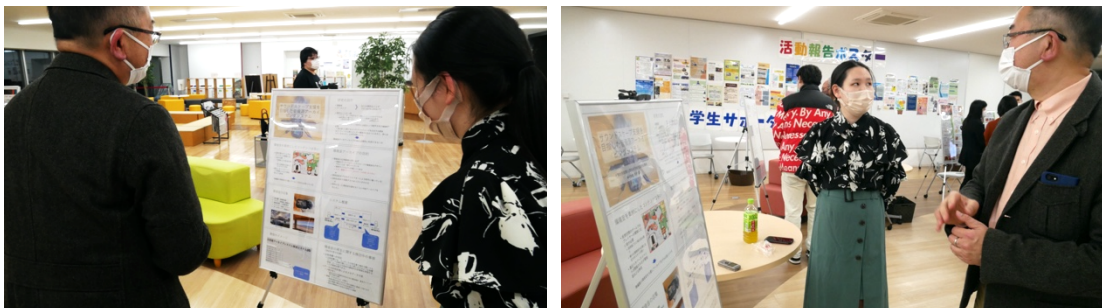
?? 投資とかああいうやつが。たしかそうだったよね。

坂本 そうです、そうです。

?? あと、花つばきとか。あれはちょっと山のほうだけど。

坂本 はい。私の父親が接待で行ったお宿が、山代温泉ですごくいいところがあるって。

?? 多分聞いたことはあると思う。あ、もう片づけないかんのか。じゃあ、ごめんね。ありがとう。久々に金沢の話ができました。



ポスターセッションの様子